

## 「海外の人々に日本食を紹介しよう」(4時間扱い)

研究開発学校 小学校英語科新カリキュラム 6年 Lesson 3

授業者 伊藤 光

### 《単元について》

**目標：** 海外の人々に日本食を紹介する活動を通して、日本食のよさを知り、既習の英語表現や言い換え等を活用しながら、積極的に日本食について説明することができるようにする。

本単元では、研究開発学校として作成した小学校英語科新カリキュラムに示される英語表現等を活用し、留学生に身近な日本食に関して紹介する活動を展開する。子供が自主的・主体的に、かつ協同的に課題解決を図っていくことができるよう、インフォメーション・ギャップのある状況（伝えたい日本食について知っている／その日本食について知りたい）を創り出し、それを埋め合わなければならない課題を設定する。子供はこれまでに覚えてきた簡単な英語を活用し、写真を見せながら身近な日本食に関する事実を説明したり質問に応じたりしていく中で、友達や留学生と積極的にコミュニケーションを図っていくと考える。

### 《単元の評価規準》 ※ 研究開発学校プロジェクト会議 (2014. 4. 30) での確認に基づく観点

**評価1** 日本食に関して写真等を見せながら既習の英語を活用して説明するとともに、質問に応じる等日本食に関するやり取りをしながら友達や留学生と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]

**評価2** 日常的な日本食や食材を表す英語、日本食について説明したり質問に応じたりするための英語を、繰り返し聞いたり話したり読んだり書き写したりしている。

[コミュニケーションを支える技能]

**評価3** 日本食について説明したり質問に応じたりするための英語を理解しているとともに、日本食のよさに気付いている。

[言語や文化に関する知識・理解]

### 《本単元におけるアクティブ・ラーニングで育んでいく資質・能力》

#### 自主的・主体的な課題解決に関わる資質・能力

- ・ 課題を明確にして、解決の見通しをもつ。
- ・ 考えを表現する。
- ・ 自分の学習を振り返り、次の学習に生かす。

#### 本単元における活動の姿

子供たちが日常的に食べており、留学生が知りたがっている身近な日本食について説明する活動であることを具体的に捉え、課題解決の見通しをもつ。

また、留学生に説明をしたり、簡単な質問に応じたりするコミュニケーション活動を行う。その中で、自分が知る身近な日本食に関する事実や自分の考えを他者に伝えようとしたり、伝えるために必要となる言葉を選択したりする。

そして活動の価値を見出すことで、「今度は～のような学習もしてみたい」など一層自主的・主体的に学んでいこうとする思いをもつ。

#### 協同的な課題解決に関わる資質・能力

- ・ 協同する。(相互補完型)
- ・ 協同することの価値に気付く。

#### 本単元における活動の姿

友達や留学生とインフォメーション・ギャップを埋め合う必要のあるコミュニケーション活動を繰り返しながら、既習の英語を活用できるようになってきていることを実感する。

また、学習を通して「楽しかったこと」「わかったこと」「できるようになったこと」等の視点で発達段階に応じた分析的な振り返りをするとともに、その内容を交流しながら自分の学習の成果を実感しつつ、自分の学びが友達の学びの役にも立っている等の互恵的な学習のよさを自覚化していく。

《研究との関わり》

自主的・主体的な課題解決や協同的な課題解決を進めることができるよう、課題設定の在り方や振り返りの在り方に関わる支援を表すと、以下のようになる。

	自主的・主体的な課題解決のために	協同的な課題解決のために
課題設定の在り方	<p>☆ <b>活動の具体的な提示とオリエンテーション</b></p> <p>学習内容に興味・関心をもつことができるよう、コミュニケーションを図る必要感をもつように導入を工夫し、活動内容を具体的に提示する。</p> <p>また、課題解決の方法や手順を明らかにして学習の見通しをもつことができるよう、オリエンテーションの場を設定する。これらにより、コミュニケーションの場面を明確にイメージし、学習で必要となる言葉を決め出しながら、進んで学習に取り組むことができると考える。</p>	<p>☆ <b>現実的なインフォメーション・ギャップの埋め合いの場の設定</b></p> <p>他者の考えを聞き、積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、インフォメーション・ギャップを埋め合う必要のある課題を設定する。そこで本単元では、留学生に身近な日本食について説明する場を設定する。これにより友達とともに必要な言葉を決め出しながら、自分が知る日本食に関する事実を伝えたり相手の質問に応じたりすることができるようになると思う。</p>
振り返りの在り方	<p>☆ <b>CAN-DO リストに基づいた価値づけの言葉かけ</b></p> <p>学習の成果を実感し、次の学習への意欲や期待感を高めることができるよう、学習の振り返りの場を設定する。そして子供の振り返り内容に対して、CAN-DO リスト（英語を使って何ができるようになったかを文章表記したもの）を提示しながら、それに基づいた価値づけの言葉をかけたり、取組の様子を称賛したりする。子供は達成感を味わうだけでなく、活動を通して「何を学んだのか」を自覚化することができると思う。</p>	<p>☆ <b>分析的な振り返りと交流の場</b></p> <p>学習を「楽しかったこと」「わかったこと」「できるようになったこと」の視点で分析的に振り返り、交流する場を設定する。さらに交流内容を思考ツールの一種である Y チャート等を用いながら視覚化する。学習の成果を友達と共有し、他者と学習することに喜びを感じ、互恵的な学びのよさを自覚化していくと考える。</p>

《単元のグランドデザイン》

	単元の開始期	単元の展開期	単元のまとめ期
時間	1 時間	2 時間	1 時間
開始期	<p>☆ <b>具体的な活動を提示</b></p> <p>○ 留学生が日本食に関して学びたいと思っていることを、ビデオレター（または英語の手紙）を通して知る。</p>	<p>☆ <b>必要感に応じた学習の場の設定</b></p> <p>○ 説明したり質問に応じたりするために日本食に関する事実や必要な英語を想起したり調べたりする。</p>	<p>☆ <b>現実的なインフォメーション・ギャップの埋め合いの場を設定</b></p> <p>○ 5年時に行った「他の附属小の友達に道南の町を紹介」等の活動を想起しながら、活動の仕方を確認する。</p>
展開期	<p>☆ <b>オリエンテーションの場を設定</b></p> <p>○ 日本食に関して説明したり質問に応じたりするために必要となる言葉や学習の流れを控え、単元の見通しをもつ。</p>	<p>☆ <b>英語を活用しながら説明の準備をする場の設定</b></p> <p>○ 実際の説明場面を想定しながら、友達に英語で説明したり質問に応じたり説明内容を整理したりする。</p>	<p>☆ <b>活動のための十分な時間の保障</b></p> <p>○ 留学生が知りたがっている日本食に関して説明したり質問に応じたりしながらコミュニケーションを図る。</p>
まとめ期	<p>☆ <b>分析的な振り返りと交流の場を設定</b></p> <p>○ 学習の状況や学年に応じた、学習の様子についての分析的な振り返りを行う。達成感を味わい、学習の成果や互恵的な学びを実感できるよう振り返り内容についての交流をする。</p>	<p>☆ <b>CAN-DO リストに基づいた価値づけの言葉かけ</b></p>	

《単元計画》

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期	<p>○ 留学生からのビデオレター (または英語で書かれた手紙) を見て、本単元の学習内容を知る。</p> <p>留学生からのオファーだね。どんな内容かな。</p> <p>留学生は普段の日本食について学びたいんだね。</p> <p>留学生たちが知りたがっている日本食について、私たちが英語で教えるんだね。普段の日本食といえば、ご飯、みそ汁、…他には？</p>	<p>☆ <u>学習への興味・関心を喚起することができるよう、留学生からのビデオレター (または英語で書かれた手紙) を用意し提示するとともに、留学生が教えてほしいがっていることを確認する場を設ける。【活動の具体的な提示】</u></p> <p>☆ 興味・関心をもって自主的・主体的に学習を進めていくことができるよう、日常的に食べている日本食を想起するよう促す。</p>
	<p><b>留学生に普段食べている身近な日本食について紹介しよう。</b></p>	
展開期	<p>○ 日本食に関して説明したり質問したりする際に必要となる言葉や学習の流れを押さえ、学習の見通しをもつ。</p> <p>日本食にはどんなものがあるか伝えないといけない。</p> <p>どんな食材が使われているのかも簡単に説明したいね。</p> <p>説明するために英語を調べて、さらに今まで覚えてきた英語もうまく使っていこう。</p> <p>5年生のときに行った学習に似ているね。班で協力して進めた方がよさそう。</p> <p>○ 代表的な日本食について説明するための英語の例を、単語が表示された日本食や食材の写真を用いるクイズ等を通して知る。</p> <p>Beef, vegetables, tofu, …? あ、すきやきのことだ。</p> <p>すきやきを説明するには、この逆をやればいいんだ。</p> <p>I like <i>sukiyaki</i>. Do you like <i>sukiyaki</i>? このくらいならすぐに質問に応じたり、質問したりできそうだね。</p> <p>○ 日本食に関して説明したり質問に応じたりするために必要な英語を集め、友達に英語で説明してみる。</p> <p>班で相談しながら説明する日本食をいくつか決めよう。他の班とも内容を調整しよう。</p> <p>決め出した日本食が栄養バランスの良い献立になっているといいね。</p> <p>iPad や電子辞書を使って日本食を説明するための英語を集めなければ。</p> <p>説明内容に合った写真も用意してiPadに入れておこう。</p> <p>集めた英語は、説明で役に立つようにワークシートに書き写していこう。</p> <p>集めた英語で説明できるかな。友達や先生を相手に試してみようかな。</p>	<p>☆ <u>見通しをもって自主的・主体的に、そして協同的に課題解決を図りながら学習を進めていくことができるよう、オリエンテーションの場を設ける。【オリエンテーションの場を設定】</u></p> <p>☆ 学習の見通しをもつことができるよう、子供の思考に基づいて説明したり質問したりする際に必要となる言葉や学習の流れを板書し、それを教室内に掲示しておく。</p> <p>◇ 日本食について説明したり質問に応じたりするための英語を理解しているとともに、日本食のよさ等に気付いている。 <b>【評3】</b></p> <p>☆ 日本食について説明するための英語を知り、また質問に応じるために必要となる英語を想起することができるよう、単語が表示された日本食や食材の写真を提示しながら行うクイズを取り入れる。</p> <p>◇ 日常的な日本食や食材を表す英語、日本食について説明したり質問に応じたりするための英語を、繰り返し聞いたり話したり読んだり書き写したりしている。 <b>【評2】</b></p> <p>☆ 日本食のよさに気付くことができるよう、単元初めに想起した日常的な日本食を基に、班で説明する日本食の献立を決め出すよう促す。</p> <p>☆ 日本食とそれに使われている食材を表す英語を知ることができるよう、英語を調べたり英語の音声を真似したりする場を設ける。</p> <p>☆ 留学生への説明や質問対応のための準備が十分にできるよう、必要な英語を調べるための時間を保障したり、調べた英語を使いながら日本食について友達や教師に説明したり質問に応じたりして活動を取り入れたりする。</p>

It's like pudding. It has eggs, chicken, and shrimp in a cup.

茶碗蒸しのことだね。確かにプリンみたいだね。Do you like it?

説明する内容を班で分担するとなんとかできそうだね。相手の質問にも答えることができるになりたいね。

《本時》

○ 留学生に日本食に関して説明をしたり質問に応じたりする。

＜説明や質問への対応の展開例＞

C1~C4→子供, F→留学生

C1~C4: Hello. Welcome to our group.

F: Hello. I'm Amy.

C1~C4: I'm Hikaru. Nice to meet you.

F: Nice to meet you, too. You have nice pictures of Japanese foods! What's this?

C1: This is *sushi*. Rice with vinegar, sugar and salt. It has fish on top.

F: I see. What's this?

C2: This is... (班で分担しながら説明していく)

F: Which do you like the best?

C1~C4: I like... Do you like *sushi*?

F: Yes! I like it very much. Thank you for today. See you.

C1~C4: See you.

留学生の質問をよく聞いて、それに合った内容で答えようね。

実際に留学生のお客様と話すから、あいさつやアイコンタクト等も大切にしたい。

写真を見せながら説明すると、伝えたい内容がよりわかりやすく伝わるね。5年生での学習内容が役に立ったな。

○ 学習の振り返りをする。

自分たちの日本食の説明が留学生に伝わってうれしかったよ。

今回の学習で焼き鳥を説明するための英語がわかるようになったな。

覚えた英語もうまく使って、言い換えながら伝えることができるんだね。

日本食のことだけでなく日本の文化や自分のことなども伝えていきたいね。

☆ 自主的・主体的に活動に取り組めるよう、代表の子供とともに活動の仕方を演示する。

☆ 友達と積極的にコミュニケーションを図りながら協同的に学んでいることを実感できるよう、互いに英語を注意深く聞いたりはっきりと話したりしようとしている姿を取り上げ、紹介や称賛をする。

◇ 日本食に関して写真等を見せながら既習の英語を活用して説明するとともに、質問に応じる等日本食に関するやり取りをしながら友達や留学生と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 評1

☆ 英語を使いながら積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、現実的なインフォメーション・ギャップの埋め合いのある活動を設定する。

【現実的なインフォメーション・ギャップの埋め合いの場を設定】

☆ 活動の進め方を明確化し自主的・主体的に、そして協同的に学習を進めることができるよう、5年時に行った「他の附属小の友達に道南の町を紹介」等の活動を想起するよう促しながら、活動の仕方を確認したり演示したりする。

☆ 留学生と積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、活動の時間を十分に保障し、いろいろな留学生に日本食に関して説明したり質問に応じたりすることを働きかける。

☆ 積極的にコミュニケーションを図りながら協同的に学んでいることを実感できるよう、英語を注意深く聞いたり話したり、留学生と礼儀正しく接したりしようとしている姿(あいさつ・アイコンタクト・はっきりとした声等)を取り上げ、紹介や称賛をする。

☆ 学習の成果を実感し、互恵的な学びのよさを自覚化しながら学習への意欲を一層高めることができるよう、「楽しかったこと」「わかったこと」「できるようになったこと」等の視点で行う分析的な振り返りの場を設けたり、CAN-DO リストの内容に基づいた価値づけの言葉をかけたりする。

【価値づけの言葉かけ】【分析的な振り返りと交流の場を設定】

ま  
と  
め  
期

《本時案》 ( 4 / 4 )

本時の目標：

留学生に日本食に関して説明したり質問に応じたりする活動を通して、写真を見せたり既習の英語表現や言い換え等を活用したりしながら、積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期	<p>○ ウォームアップをする。</p> <p>tea と sea って音声も似ているし文字も似ているね。</p> <p>絵を見ながら英語の音声を聞いて、内容に合った文を選ぼう。</p>	<p>☆ 身近なものを表す絵と英語の音声と文字との対応を理解していくことができるよう、計画的なウォームアップの場を設定する。</p>
展開期	<p><b>留学生に身近な日本食について説明したり質問に応じたりしよう。</b></p>	
	<p>○ 学習の見通しをもつ。</p> <p>前の時間までに準備した内容で、留学生に日本食について英語で説明しよう。</p> <p>班で役割分担、ぼくは焼き鳥の説明をするよ。iPad で写真を見せながら説明しよう。</p>	<p>☆ 活動の進め方を明確化し自主的・主体的に、そして協同的に学習を進めることができるよう、5年時に行った「他の附属小の友達に道南の町を紹介」等の活動を想起するよう促しながら、活動の仕方を確認したり演示したりする。</p>
	<p>○ 留学生に日本食に関して説明をしたり質問に応じたりする。</p> <p>ワークシートのメモを見ながら、相手にはっきりと説明しよう。</p> <p>実際に留学生のお客様と話すから、あいさつやアイコンタクト等も大切にしないと。</p>	<p>◇ 日本食に関して写真等を見せながら既習の英語を活用して説明するとともに、質問に応じる等日本食に関するやり取りをしながら友達や留学生と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評1</span></p>
	<p>留学生の質問をよく聞いて、それに合った内容で答えようね。</p> <p>すしのことを質問された。私が説明するね。This is <i>sushi</i>. It has fish on top.</p>	<p>☆ <u>英語を使いながら積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、現実的なインフォメーション・ギャップの埋め合いのある活動を設定する。</u></p>
	<p><b>【現実的なインフォメーション・ギャップの埋め合いの場を設定】</b></p>	
	<p>茶碗蒸しは確かプリンみたいだということを伝えればよかったな。</p> <p>入っているものも具体的に言えばいいよ。It has eggs, chicken, shrimp...</p>	<p>☆ 留学生と積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、活動の時間を十分に保障し、いろいろな留学生に日本食に関して説明したり質問に応じたりすることを働きかける。</p>
	<p>I like <i>chawan-mushi</i>. おいしい、塩分控えめだよ。</p> <p>Do you like <i>chawan-mushi</i>? 同じ質問を返すのも楽しいね。</p>	<p>☆ 積極的にコミュニケーションを図りながら協同的に学んでいることを実感できるよう、英語を注意深く聞いたり話したり、留学生と礼儀正しく接したりしようとしている姿(あいさつ・アイコンタクト・はっきりとした声等)を取り上げ、紹介したり称賛したりする。</p>
	<p>写真を見せながら説明すると、伝えたい内容がよりわかりやすく伝わるね。5年生での学習で覚えた Show and Tell の技が役に立ったな。</p>	<p>☆ <u>学習の成果を実感し、互恵的な学びのよさを自覚化しながら学習への意欲を一層高めることができるよう、「楽しかったこと」「わかったこと」「できるようになったこと」等の視点で行う分析的な振り返りの場を設けたり、CAN-DO リストの内容に基づいた価値づけの言葉をかけたりする。</u></p>
	<p>○ 学習の振り返りをする。</p> <p>自分たちの日本食の説明が留学生に伝わってうれしかったよ。</p> <p>今回の学習で焼き鳥を説明するための英語がわかるようになったな。</p>	<p>☆ <b>【価値づけの言葉かけ】【分析的な振り返りと交流の場を設定】</b></p>
	<p>覚えた英語もうまく使って、言い換えながら伝えることができるんだね。</p> <p>日本食のことだけでなく日本の文化や自分のことなども伝えていきたいね。</p>	
まとめ期		